

【番組】

◆「猩々」の解説／謡の練習

解説・指導：山本章弘

◆狂言 千鳥 ちどり

シテ(太郎冠者) 善竹隆司

アド(酒屋) 善竹隆平

アド(主人) 上西良介

後見 上吉川徹

◆能 猩々 しょうじょう

シテ(猩々) 山本章弘

ワキ(高風) 原 大

笛 斉藤 敦

小鼓 古田知英

大鼓 山本哲也

太鼓 中田弘美

後見 赤瀬雅則

前田和子

地謡 梅若基徳

井戸良祐

林本 大

今村哲朗

初めてのの方も 楽しめる 感じる!  
会場の皆さんも「謡」をうたって能に参加!

# 二百人の猩々

しょうじょう

後半部分の謡を会場のお客様も  
一緒に合唱します

\*出演者の一部が変更になる場合もございます旨、  
ご了承下さいますようお願い申し上げます。

平成24年

**3/17** [土]  
15:00開演 (14:30開場)

茨木市市民総合センター

**クリエイトセンター・センターホール**

茨木市駅前四丁目6番16号072-624-1726 / JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

【全席自由】前売2,500円 / 65歳以上、障害者及びその介助者2,000円 / 青少年(24歳以下)1,000円(当日は各300円増し)

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き(各会員割引の取り扱いは文化振興財団のみ)

※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください

◆チケットのお申込み・お問い合わせ

(財)茨木市文化振興財団・事業係 072-625-3055 (ユアアイホール1階 9:00~17:00)

※発売初日(12/9)は電話予約のみ。予約精算・窓口販売は翌日(12/10)から下記のチケットカウンターで

ユアアイホール 9:00~17:00 / 火・木は20:00まで(祝日は除く) ※12/29~1/3は休館

クリエイトセンター 9:00~17:00 ※12/29~1/3は休館

◆その他の販売所 [初日店頭販売有り]

ローソンチケット 0570-000-777・Lコード予約 0570-084-005 (Lコード59545) ※ローソン各店舗で直接購入できます

電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード415-707) ※セブンイレブン、サークルK、サンクス各店舗で直接購入できます

◆主催：(財)茨木市文化振興財団 ◆後援：茨木商工会議所 / 茨木市観光協会

12月9日(金)9:00  
電話予約開始

残席がある場合は翌日から  
窓口販売いたします

# 初めての方も 楽しめる 感じる ～「謡」をうたって能に参加！ 300人の猩々

「300人の猩々」は、山本能楽堂が開発された参加体験型の能公演のクリエイトセンター版です。これは、能の地謡(コーラス)を、会場にいらっしゃる方全員で合唱していただくもので、会場の広さによっては「500人の猩々」となることもあります。毎年、年末に大阪で開催されている「万人の第九」をヒントに企画されました。能の上演の前にオリジナルの「読本」を使って詳しく謡を指導していただきます。また、そのことによって能の内容についても理解を深めることができますので、初心者の方でも気軽にご参加いただけます。どうぞ奮ってご参加ください。

## 「猩々」の物語

昔、潯陽(しんよう)に住む孝行者の「高風」という男が、夢のお告げに従って市場で酒を売ると、大金持ちになった。そこに高風の酒を飲んでも顔色が変わらない不思議な客が来て、自分は海中に住む「猩々」という精霊であると告げて立ち去った。驚いた高風が川のほとりに酒壺を供えて夜すがら待っていると、猩々があらわれ、酒の徳をたたえ、高風と酒を酌み交わして、酔って舞い、高風にいくら飲んでもなくなる酒壺を与え、再び海中に帰ってゆくのだった。

## 「猩々」とは？

猩々とは中国の伝説上の動物で、赤い顔をした人間のような容貌でお酒が大好きとされています。過去には寿福老の代わりに七福神に加えられていた時代もあり、めでたい存在とされています。能では、赤い頭に赤地の唐織を着て、緋色の大口袴という出で立ちで、さらに赤い彩色の「猩々」という名前の専用の能面をかけて舞うため、足袋以外はすべて赤い格好となっています。

\*

## 狂言「千鳥」

太郎冠者は主人に酒を買ってくるよう命じられ、酒屋に行くが、酒代の支払いがまだなので、売ってもらえません。今回分の代金は持ってきたなどと言って、隙を見て酒樽を持って行こうとするが止められます。酒屋が話し好きであることを知っている太郎冠者は、津島祭を見物に行った話で酒屋の気を引くことにしますが…さて。

[解説・指導・シテ]

山本章弘(やまもとあきひろ)

昭和35年11月生まれ。幼少より父、故山本眞義に師事し昭和58年、故25世宗家観世左近に入門。昭和63年独立。現在26世宗家観世清和に師事。3歳にて初舞台。主な披曲は「石橋」「猩々乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」「砦」など。海外公演は、米・ワシントン、インド、オーストラリア、イタリア、フランス等に参加。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財保持者総合指定。日本能楽会々員。関西大学文学部卒業。関西大学及び大阪樟蔭女子大学能楽部講師。観世流発祥の地・奈良県結崎にある川西小学校の総合学習の能楽講師をつとめるほか、「アートによる能案内」「能とあそぼう」など、子ども達へ能楽の普及に努める。公益財団法人山本能楽堂代表理事として、「とくい能」「上方伝統芸能ナイト」などの新事業を立ち上げ、あらゆる世代に向け新たな能の魅力を伝えるべく、積極的に普及活動を行っている。「大阪文化祭奨励賞」「なにわ大賞大阪21世紀協会賞」などを受賞。

●山本能楽堂公式ホームページ<http://noh-theater.com/>



### ◆チケットのお申込み・お問合せ

(財) 茨木市文化振興財団 072-625-3055 (茨木市市民会館1階 9:00~17:00)

\*財団の発売初日は電話予約のみです。

\*予約後は、1週間以内に市民会館またはクリエイトセンターチケットカウンターでご精算ください。

\*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料400円)を郵便局備え付けの

「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

(払込口座) 00970-7-190576 / 加入者名: 財団法人茨木市文化振興財団

◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター) 茨木市駅前四丁目6番16号 / 072-624-1726

